

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こども発達支援coconone		
○保護者評価実施期間	R7年12月15日		～ R8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年11月7日		～ R7年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月18日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>職員配置の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児分野での経験が豊富な理学療法士や保育士が常勤で勤務しており、専門的な支援および相談への対応が可能です。 ・児童発達支援管理責任者は福祉に従事していたため、住環境等や福祉用具についても相談対応が可能です。 ・医療的ケア児の来所時には、看護師も配置しているため、安心して通所することが可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたアセスメントツールを使用することで客観的な評価に基づく支援を行っています。 ・医療機関と併用されている方が多いため、必要に応じて医療機関へ出向いて情報を共有するなど連携を図っています。 ・発達段階や興味に応じた遊びを展開することで、お子様が主体的に参加しながら発達支援につながるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児理学療法に関する研修だけでなく、遊びの発達に関する研修に参加することで、さらにお子様の心の内面を捉えた支援につながるようしていきます。 ・生活年齢（実年齢）に応じた経験を積み重ねられるよう機会の提供について検討していきます。
2	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スロープや車椅子用のトイレと手洗い場を設置しており、車椅子のお子様でも安心して通所できる環境を整えています。 ・階段には手すりを設置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関スロープは取り外し可能なため、車椅子のお子様の来所の際に設置しております。また、車椅子の動線になる通路にはものを置かないようにしています。 ・階段に手すりがあるため、自宅の階段を想定した練習も行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー室もあるため、医療的ケアの必要なお子様や重症心身障害をもつお子様を対象に入浴支援についても対応できるよう準備を進める予定です。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>就園時の引き継ぎについて、十分な情報を把握できていない。</p>	<p>R7年7月に開所したため、現時点では通所児童の就園を経験していないため。</p>	<p>この春に通所児童の複数名が就園予定のため、園の意向や困り感等を確認しながら、丁寧に進めていき、有効だった内容や工夫、改善点等について事業所内で情報を共有し、次年度につなげていきます。</p>
2			
3			